



『開く・啓く・拓く』のその2

校長 門脇 伸也

昨年の5月、コロナウイルスが『5類』へ移行してから1年が経ちます。あちらこちらで参加者が直接顔を合わせての総会や会合が開催されています。オンライン開催の利便性も理解しているところですが、やはり直接御顔を合わせて会話の出来ることに「ホッ」としております。

5月13日（月）午前10時から新宿養護学校 PTA 総会が開催されました。参集とオンラインを併用した開催でした。参集された保護者の方には、マスクの着用をしていただきました。総会后、保護者懇談会も設定されました。今後もコロナ禍前のような情報交換が盛況となることを願っています。

5月22日（水）、本校の放課後の体育館を『ひまわりハウス』（=NPO 法人による重度心身障害者の自立支援活動事業）の活動が行われました。この日は、ギター奏者とボーカルの方を招いてのコンサートの光景が見られました。賑やかな曲に合わせて参加者の楽しそうな歌声が響いていました。この活動によって、障害のある子どもたちへの理解者が増えたり、参加者のネットワークが広がったりしていくと捉えています。

5月26日（日）、区立障害者支援センターにて、「新宿区手をつなぐ親の会」（知的障害のある子の親の会）の総会が開催され、来賓として参加してきました。主な来賓者は、区長をはじめ、新宿区選出の国会議員の方と多数の区議会議員の方、区立障害者支援センターの関係者、各地区代表の民生委員の方々でした。この会の活動指針を、我が子が明るく楽しく暮らせる新宿区を作り上げていくとし、総会后には知的障害のある方たちの活動を支える社会福祉法人『あした会』から事業所における活動報告会もありました。夕方から夜間の居場所づくりや短期入所施設の必要性や相談支援体制の整備の話題もあり、新宿区と「新宿区手をつなぐ親の会」が車の両輪となって、関係機関との連携や意見交換等を積み上げていることの大切さを強く感じる時間でした。

3年前から区の福祉課主催による新宿区障害者自立支援協議会に参加し、福祉や教育関連の会議や支援団体の会合に出席させていただく中で、知的障害・精神障害・発達障害・聴覚障害などの肢体不自由以外の障害をもつ方々のことも意識するようになりました。こうした中で、肢体不自由児（者）は言葉によるコミュニケーションや表出の難しさや医療的ケアの安全性のことの方が注目され、権利擁護の対象としては話題になりにくいことや本人及び保護者が就労支援についての話を聞く機会も少ないことを知り得ました。本校も高等部卒後の進路について、勤労者・仕事支援センターの就労支援員から「障害者雇用促進法の改正」や「障害者の働く現状」について、知っておく必要があると改めて関係機関との連携や意見交換等を積み上げていることの大切さを感じました。

新宿区立あゆみの家の運営法人 社会福祉法人 新宿区障害者福祉協会とはコロナ禍で止まっていた連携を始動していきます。関係機関の皆様、よろしくお願いいたします。

最後に、6月1日（土）は、本校の授業参観を行います。コロナ禍のような人数制限はしませんが、11時30分までの御家族に限っての公開といたします。お子様のことについて、共有できる機会になろうかと捉えております。マスクの着用は感染予防対策として継続しておりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

「井口元監督と株式会社 MAXIV 様との交流会」

4月24日（水）に、元千葉ロッテマリーンズ監督の井口資仁氏と株式会社 MAXIV の代表の方々が新宿養護学校を訪問されました。この度、「MAXIV LIEN PROJECT」の活動として、株式会社 MAXIV 様より本校に養護椅子（肘掛け椅子）5脚を寄贈いただき、贈呈式を兼ねて児童・生徒との交流会を行いました。

交流会では、まず始めに「Q&A コーナー」として、中学部の代表生徒2名が井口氏に質問をしました。生徒からの「筋トレについて」や「大舞台で緊張しないコツ」などの質問に真正面から答えていただき、

生徒らと井口氏との和やかなコミュニケーションが生まれました。その後、小学部と中学部の代表児童・生徒4名に井口氏、MAXIV 代表の方を交え、10名でボッチャの試合を行い、手に汗握る大接戦となり、大いに盛り上がりました。

井口元監督、株式会社 MAXIV の方々の御厚意と温かな交流は、本校児童・生徒の心に響くものでありました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



「はたらく消防の写生会」

4月26日（金）に今年度も新宿消防署の消防士や地域の消防団の方々が来校してくださいました。消防士の方の話を聞いた後に、消防車や救急車、消防団の車を見学したり、防火衣やヘルメットを着用してみたり、消防車や救急車に乗る体験をしたりすることができました。

どの児童・生徒も目を輝かせ、楽しそうに体験していたのが印象的でした。この会で見たり体験したりしたことを基に、図工や美術の授業で作品を描いていく予定です。



「ようこそ新宿養護学校へ！新入生歓迎会」

5月17日（金）に新入生歓迎会が開かれました。今年は小学部5名、中学部3名、訪問部2名（小学部1名、中学部1名）の10名を迎えました。

新入生一人ひとりの自己紹介から始まり、小学部の2～6年生が作ったメダルの贈呈、各学年・学部ごとの歓迎の発表や教職員バンドによる演奏などがありました。会の進行、挨拶、歓迎の言葉は中学部生徒会が担当し、生徒会の初仕事として活躍してくれました。

歓迎の発表では、楽しい音楽に合わせてダンスや劇を披露し、上級生たちの温かい歓迎の気持ちが溢れていました。最後は軽快なバンドとおなじみのひまわりサンバで盛り上がり、楽しく有意義な新入生歓迎会となりました。

